

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
学外実習Ⅱ		塩原 明世	実習	6	後期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	食と健康に関わる専門職業人として必要な実践的知識・技能および勤労観・職業観、就業力を高める。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	実習の注意点	実習生の勤務上の注意事項について具体的に学ぶ			
2	実習課題の設定	実習課題のあり方についてモデルを学ぶ			
3	事前指導	実習に臨む心構えと、実習記録のとり方			
4	実習	事業所、介護施設、幼稚園、病院など(学外実習Ⅰで経験した施設以外)において、30時間以上の実習を行う。実習においては、専門職業人としての社会でのあり方について体験的に理解を深める			
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14	体験報告会	実習施設での経験をまとめ、報告する			
15	反省と今後の課題	実習施設からの評価、実習記録を元にまとめる			
参 考 書	(社)日本栄養士会、(社)全国栄養士養成施設協会編「臨地・校外実習の実際 - 改正栄養士法施行にあたって - 」(http://www.dietitian.or.jp/ からダウンロードできる)				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	栄養士に必要な知識と技術をしっかりと確認し、実習の目的を明確にして臨むこと。栄養士専攻で学習した内容を確実に復習し、礼儀作法、一般常識を正しく身に付けて実習に臨んでほしい。				
評価の方法と時期	事前学習の授業態度、実習施設からの評価、実習後の提出物から総合的に評価する。				